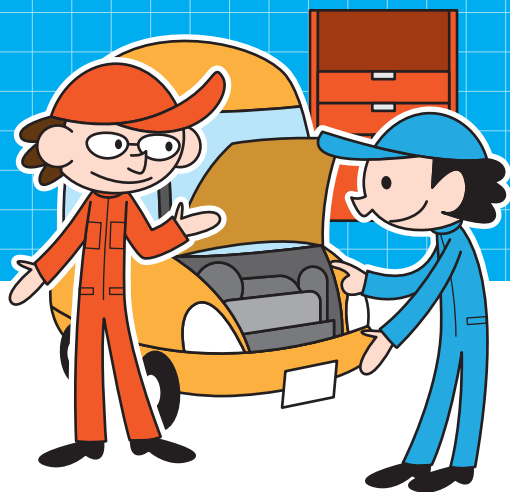


法定1年定期点検

(自家用乗用車等)

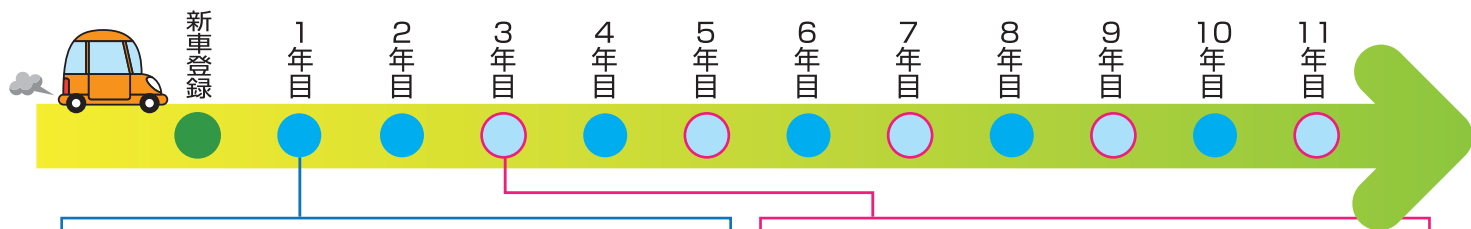
定期点検でクルマの故障原因になる不具合を早期発見！

定期点検は、自動車の故障を未然に防ぎ、その性能維持を図るために行う点検です。自家用乗用車の定期点検は最低でも1年ごとに行う必要があります。



人は年に一回の定期健診で体の異常を早期発見し、重度の病気になる前に治療が可能！
車も年に一回の定期点検で不具合を早期発見し、重度の故障になる前に対策が可能！

定期点検実施スケジュール



…1年定期点検

安全確保、公害防止及び故障予防の観点から、車検と車検の間に年にクルマの構造、装置が正常に機能しているかを国が定める基準に沿って点検し、必要に応じて部品交換・修理・調整等を行います。

…車検(継続検査)+2年定期点検

車検とは、一般的に自動車検査証の有効期限が満了した後も引き続きその自動車を使用するときを受ける検査(継続検査)を指します。また、車検時に行う2年定期点検では、1年定期点検項目に加え、国が定める基準に沿ってさらに多くの点検項目を実施します。

定期点検の実施の有無や次回の定期点検の実施時期は、車両前面ガラスのステッカーで確認できます。

点検・整備を怠ることによる故障・不具合事例

搭乗者の命に係わるリスク 燃料漏れによる車両火災

燃料ホース等に亀裂が生じることで燃料漏れを引き起こすことがあります。漏れた燃料がエンジンなどの熱源により着火し車両火災に至ってしまった場合運転者だけでなく同乗者等も危険にさらすことになります。



亀裂から燃料漏れをおこした燃料ホース

他人の命に係わるリスク 装置破損による車輪脱落

車輪と車体をつなぐ装置が破損することで、ハンドル操作および自走ができなくなるケースがあります。その場合、歩行者や他の交通なども危険にさらすことになります。



破損した前輪と車体をつなぐ装置

多大な出費のリスク オーバーヒートによる路上故障

冷却不良を起こしエンジンがオーバーヒートしてしまった場合、多大な出費を要する可能性はもちろん、大事な予定に支障を及ぼすだけでなく、交通渋滞の原因になり、他人にも迷惑をかけることになります。



冷却不良によるオーバーヒート

他の車を巻き込むリスク 整備不良が原因となる交通事故

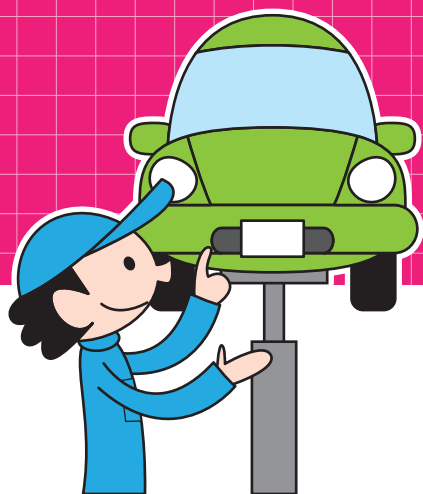
ブレーキランプ切れが原因で後続車と追突事故をおこしてしまうなど、適切な点検整備を怠ると単独事故だけではなく、他の車を巻き込んだ事故を発生させてしまう可能性があります。



電球が切れたため点灯しないブレーキランプ

法定2年定期点検 車検時

(自家用乗用車等)



車検を通すだけではなく
安全のため点検も併せて実施します！

車検は、その時点でクルマが国の定める基準に適合しているかのみを判断するものですので、その後の安全性を保証するものではありません。

1年定期点検と併せて更に多くの点検項目を実施し、より正確なクルマの状態を把握・対策することにより、故障を未然に防ぎ、その性能維持を図ります。

車検 (自動車検査)

現時点で国が定める最低限の基準に対して適合・非適合を検査



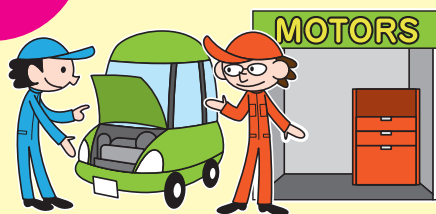
一般的にユーザー車検やユーザー車検代行業者では、車検を通すだけのことが多い。

そこで必要なのが

ユーザー車検(定期点検未実施)後に発生している故障は定期点検の実施でほとんどの場合、防止できます。

定期点検

車検後の故障を防ぐため、
長期的な安全性を考慮して
確認・対策します！



自家用乗用車の定期点検項目 (平成25年10月現在)

1年点検:全26項目
2年点検:全30項目

2年点検時は1年点検項目と併せて
全56項目の点検項目

※シビアコンディション:車両の使用状況、装備等により、標準よりも早めの点検やメーカーが指示した部品交換等が必要な場合があります。

各装置の定期点検項目一例

ステアリング装置

ハンドル操作の不具合を防止するため、ロッドおよびアームの緩み、がた、損傷等を点検します。



ブレーキ装置

ブレーキの効き不良を防止するため、ブレーキディスクの摩耗および損傷等を点検します。



走行装置

ホイールの脱落などを防止するため、ホイールナットおよびホイールボルトの緩み等を点検します。



サスペンション

サスペンションの異音の発生や不具合を防止するため、取付部および連結部の緩み、がた、損傷等を点検します。



動力伝達装置

走行時の振動や動力伝達不良を防止するため、プロペラシャフト連結部の緩み等を点検します。



電気装置

エンジンの始動不良や排気ガス悪化防止のため、点火プラグの状態等を点検します。



エンジン

エンジンの不具合を防止するため、冷却装置の水漏れ等を点検します。



ばい塵・悪臭のあるガス・有害ガスなどの発散防止装置

熱害による火災発生等を防止するため、排出ガス減少装置の取付の緩みおよび損傷等を点検します。



法定日常点検

(自家用乗用車等)

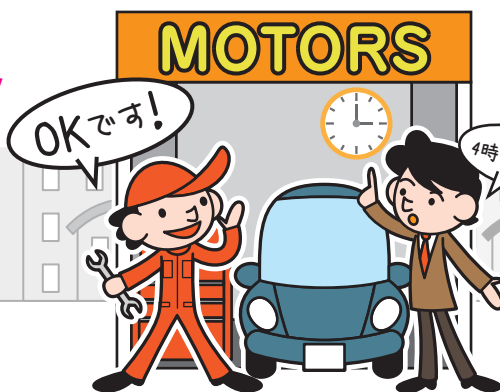
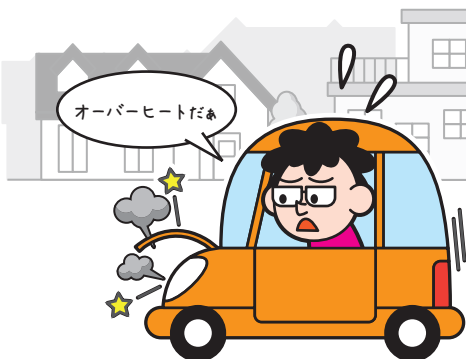


日常点検をご自分で行わない方、
行う機会が少ない方、
整備工場にお任せ下さい！

日常点検は、走行距離や運行時の状態から判断した適切な時期に、国が定めた15項目の点検を行う必要があります。基本的にはユーザー自身が行うものですが、普段あまり実施していない方、やり方が分からない方は整備工場にお任せ下さい。

日常点検実施のメリット

おでかけ中の
故障トラブルを防ぎます！



点検は
短い待ち時間でOK!

日常点検で、クルマの
状態変化がよくわかる！



点検15項目

エンジンルームを覗いて点検！

- 1 ウインド・ウォッシャ液の量
- 2 ブレーキ液の量
- 3 バッテリー液の量
- 4 冷却水の量
- 5 エンジン・オイルの量

クルマのまわりを回って点検！

- 6 タイヤの空気圧 (含むスペア・タイヤ)
- 7 タイヤの亀裂、損傷および異常な摩耗
- 8 タイヤの溝の深さ
- 9 ランプ類の点灯、点滅およびレンズの汚れ、損傷

運転席に座って点検！

- 10 ブレーキ・ペダルの踏みしろおよびブレーキの効き
- 11 パーキング・ブレーキ・レバーの引きしろ
- 12 ウインド・ウォッシャの噴射状態
- 13 ワイパの拭き取り状態
- 14 エンジンのかかり具合および異音
- 15 エンジンの低速および加速の状態

ECOメンテナンスセット



燃費の悪化を防止！ CO²排出量を削減！

クルマは購入したときの性能を維持することでエコに繋がります。
国土交通省「自動車エコ整備に関する調査検討会報告書(平成22年3月)」
によると、適切な点検・整備の実施により、クルマの燃費性能が2%程度改
善することが実証されています。

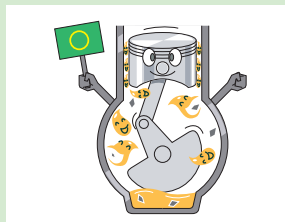
**定期点検と併せて下記の3項目を実施する
ことにより燃費改善効果が期待できます！
また、オイル交換時などにも3点セットで
実施すれば持続効果が期待できます！**

エコカー以外のクルマでも、適切な点検・整備
を実施することでエコに貢献できるんだよ！
もちろんエコカーもその優れた性能を維持する
ために実施してね！



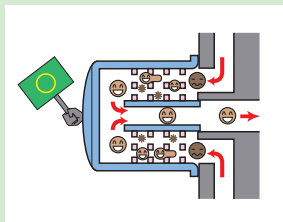
エンジンオイル&オイルフィルタ交換

エンジンオイル



エンジン内部を潤滑し、不純物からエン
ジンを保護します。

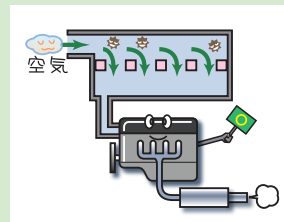
エンジンオイルフィルタ



エンジンオイル内の不純物をろ過します。

エアクリーナエレメント 清掃・交換

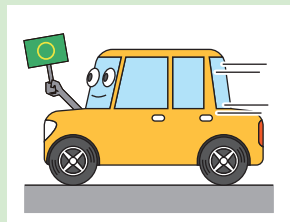
エアクリーナーエレメント



エンジンが吸入する空気中のチリなど
をろ過します。

タイヤ空気圧調整

タイヤ

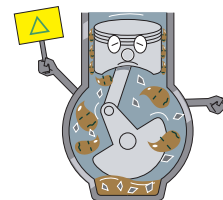


クルマの「走る・曲がる・止まる」の動作
を担っていることはもちろん、路面から
の衝撃を吸収し、走行安定性を保つ働き
もあります。

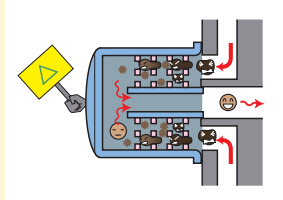
正常な働き・状態

交換・調整の必要性

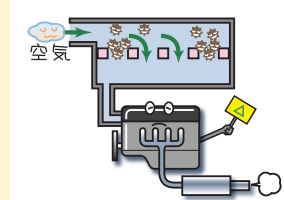
交換・調整を怠ると...



不純物を包み込む力が衰え、潤滑性能が
低下します。また、潤滑性能の低下は、エン
ジン出力の低下や燃費悪化の原因と
なります。



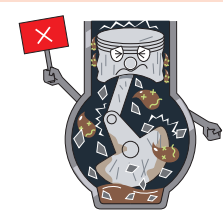
不純物が蓄積され、目詰まりが発生し
ます。



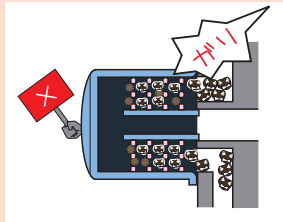
チリなどが蓄積されて目詰まりが発生
します。また、目詰まりにより吸入空気
量が不足し、エンジン出力の低下や燃費
悪化の原因となります。



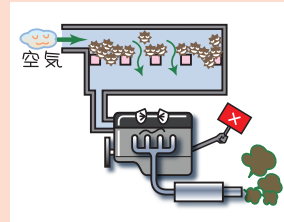
自然漏れによりタイヤ空気圧が低下し、
走行安定性の悪化及び転がり抵抗の増
加により燃費の悪化を引き起こします。



潤滑性能の低下により、傷付き・焼き付
きを起こします。



目詰まりによる過熱となり、エンジ
ン内部が損傷します。



エンジの出力低下のほか、燃費や排ガス
が悪化します。



タイヤ空気圧不足により、高速走行中等に
タイヤに極度のたわみが生じ、最悪の場合
パースト(タイヤ破損)を起こします。



エンジンオイルは 最近のエンジンに多く装備されている精密装置(可変バルブタイミング機構等)を動作させる働きも担っているので、このような装置の故障を防ぐためにも定期的なオイル交換の重要性が高まっています。

長期使用車両向け

点検・整備項目

(自家用乗用車等)

あなたのクルマは大丈夫？

お車を未永く快適に使用するために！

車は多くの部品から構成されており、使用されている間に各部が摩耗したり劣化することが避けられません。

そのまま使い続けると性能が低下したり、故障の原因となりますので、車両を安全・快適に使用するために、年式や走行距離に応じた点検・整備が必要です



点検・整備
未実施



点検・整備
実施



自動車整備業界では、これまでの経験をもとに「長期使用車両向け点検・整備項目」を設定しています！

長期使用車両向け点検・整備項目の一例 (自家用乗用車)

定期点検と一緒に実施が効果的！

スパークプラグ(白金・イリジウム)

点火不良によりエンジン不調、燃費悪化

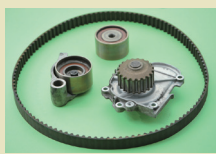
電極の消耗等により点火ミスが発生し、燃焼不良状態になります。



タイミングベルト

エンジン停止・損傷

交換時期を超えて使用を続けると、ベルトが切れてエンジンが止まってしまう可能性があり、最悪の場合、エンジン内部に重度の損傷を引き起こします。



ラジエーターキャップ

オーバーヒート

ラジエーターキャップが損傷すると、通常100℃超に保たれているエンジン冷却水の沸点が下がり、沸騰してあふれ出すことでオーバーヒートする可能性があります。



エンジンマウントラバー&ブラケット

エンジンルームからガタガタ音と振動が発生

ゴム部品等の劣化により亀裂や損傷が発生しショックを吸収できず、異音や振動につながる恐れがあります。



ドライブシャフトのジョイント部&ベアリング

走行中にガタガタ音と振動が発生

ドライブシャフトのベアリングやジョイント部分が摩耗することによりガタが発生し、走行中に異音や振動が発生します。



ブレーキのゴム部品(インナーキッド)

ブレーキの効きが悪くなる

各種ゴム部品が劣化するとブレーキオイル漏れが発生し、制動力(停車させる力)が低下する可能性があります。



サスペンション

段差で車が跳ねる

ショックアブソーバー及びスプリングがへたると、段差で車が跳ねやすい、揺れが収まりにくい等、乗り心地が悪くなります。



インジケータランプ

車の不調に気付かず重症に

警告灯のランプが切れていると、車の不調やトラブルの情報がドライバーに伝わらず、重度の故障に繋がる恐れがあります。



各種ペダルパッド

ペダルを踏む際に滑りやすくなる

ブレーキ、アクセル、クラッチ等のペダルパッドが摩耗すると、滑りやすくなります。



安心・快適パック

(自家用乗用車等)



クルマを使うのは休日だけの方、
短距離走行が多い方は特に要注意！

安心や安全も、自分で選ぶ時代です。クルマだって同じこと。
そして、そんな年々多様化するドライブシーンに対応すべく登場した
のが、3つのセーフティ商品からなるこの「安心・快適パック」です。

法定点検の中間に

セーフティ・チェック

日常6カ月もしくは5,000キロ
走行程度の間隔で実施する点検

買い物や送り迎えのような短距離走行の繰り返しをしているクルマは一般的
にクルマの負担が大きいとされています。クルマの各部は、乗る機会(走行距
離)が少ない場合でも、経年劣化等により機能低下が進んでいきます。

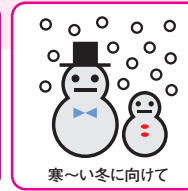


点検項目
24
項目
所要時間
約40
分

季節の変わり目に

シーズン・イン・チェック

夏の炎天下での渋滞、梅雨時やゲリラ豪雨時の雨天走行、冬の朝の冷え込みの
なかでのエンジン始動や雪道走行などなど…クルマは気候や気温の変化によ
り駐車中・走行中問わずに劣悪な環境にさらされていて、思わぬ不具合が進行
している可能性があります。



点検項目
17
項目
所要時間
約30
分

夏・冬用タイヤへの履き替え機会等に是非チェックを!

長距離ドライブ前に

ロング・ドライブ・チェック

高速道路や山道等でのトラブルは大変危険です。
路上故障で停車中に事故に巻き込まれてしまう可能性が高く命に係わるこ
とも。また、旅行等の際にはせっかくの予定が台無しになってしまい、更には交通
渋滞を引き起こすなど、他人にも迷惑をかけてしまいます。



点検項目
30
項目
所要時間
約60
分

(注意) 記載した点検所用時間はあくまでも目安であり、車種等によって異なる場合があります。

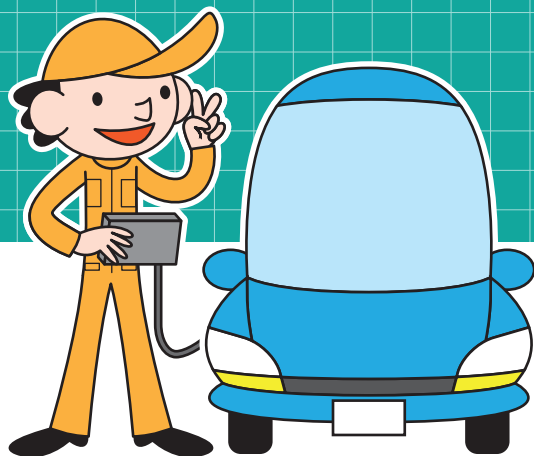
※オプション点検項目：前回点検からの走行距離数等を勘案し、実施して下さい。

安心・快適パック 点検項目一覧

点 検 項 目				点 検 項 目				
	シーズン	セーフティ	ロング		シーズン	セーフティ	ロング	
エンジン	パワーステアリングベルトの張り具合・損傷	○	○	○	エンジンオイルの汚れ・量・漏れ	○	○	○
	パワーステアリングフルードの量・漏れ	○	○	○	冷却水の汚れ・量・LLCの比重	○	○	○
ブレーキ	ブレーキフルードの汚れ・量	○	○	○	冷却装置の水漏れ	○	○	○
	ブレーキペダルの遊びと踏み込んだ時の床板とのすき間	○	○	○	ファンベルトの張り具合・損傷	○	○	○
	パーキングブレーキレバーの引きしろまたはペダルの踏みしろ・もどり具合	○	○	○	エンジン			
	ブレーキホース、パイプの損傷・取り付け状態とブレーキフルードの漏れ	○	○	○	エアクリーナーエレメントの汚れ・損傷	○	○	○
	ブレーキパッドの残量、ディスクローターの摩耗、損傷	※	※	○	燃料漏れ	○	○	○
	ブレーキライニングの残量、ドラムの摩耗、損傷	※	※	○	エンジンのかかり具合、低速及び加速の状態	○	○	○
	ブレーキのきき具合	○	○	○	排気の漏れと排気の状態	○	○	○
	タイヤ	○	○	○	マフラーの損傷	○	○	○
タイヤ	タイヤの空気圧	○	○	○	バッテリーの液量・比重	○	○	○
	タイヤの亀裂・損傷・異物	○	○	○	ランプ類の作用	○	○	○
	タイヤの溝の深さ・異常な摩耗	○	○	○	ランプ類のレンズの損傷	○	○	○
パワー	クラッチの作用、またはオートマチックトランスミッションの作用	○	○	○	ウインドウォッシャーの作用・液量	○	○	○
	トランスミッションのオイル漏れ	○	○	○	ワイパーの作用とワイパーブレードの損傷	○	○	○
	ドライブシャフトダストブーツの亀裂・損傷	○	○	○	エアコンのベルトの張り・損傷・ガス量	○	○	○

コンピュータ・システム による車両診断

目に見えない電子的な不具合を
チェックできます！



最近の車では、低燃費性能の追求や交通事故回避のため、電子装置を多用して制御しているため、コンピュータ・システム(スキャンツール)を使わなければ正確な状態を把握できない装置が増えています。

定期点検と同様に継続的にコンピュータ・システム(スキャンツール)による診断を実施し、クルマ(電子的装置)の状態を把握することで、目に見えない不具合の早期発見が期待できます。

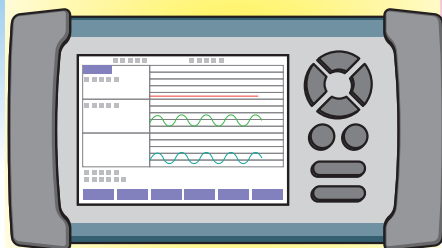
故障修理時



不具合箇所の
究明

故障箇所の究明時間を短縮！

コンピュータ・システム (スキャンツール)による診断



車検・定期点検時など



潜在的な
不具合の
有無を把握

突然の故障を未然に防ぐ！



スキャンツールとは？

自動車用のスキャンツールとは、自動車の各装置の目視等では分からない情報を入手できる診断用ツールのことです。

スキャンツールで診断できる代表的な装置例

エンジン

点火装置、燃料装置、吸気装置、冷却装置、排気装置 等

トランスミッション

変速装置、断続装置 等

ステアリング

パワーステアリング装置 等

ブレーキ

ABS装置、アシスト装置 等

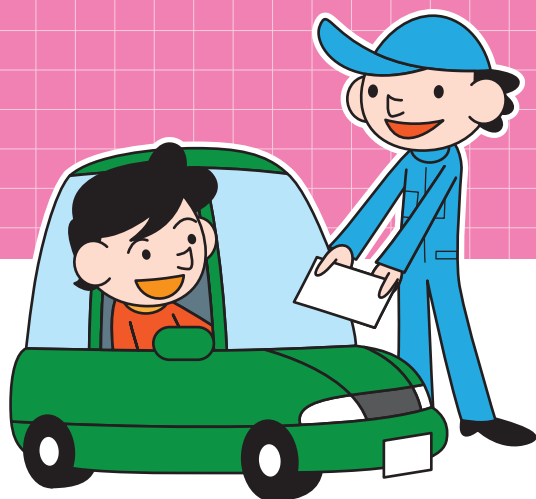
エアバック

展開装置 等



(注意) スキャンツールの種類や性能等により、診断できる装置及び内容が異なります。また、全ての不具合を発見できるものではありません。

てんけん安心見舞金制度



もしものときに
見舞金が支払われます！

お客様の交通安全を願って、てんけん安心見舞金、プレゼント証（対象車両証書）を進呈させていただきます！

てんけん安心見舞金制度、はプレゼント証が発行された自動車に搭乗中、万が一交通事故によりお客様（運転者・同乗者）が受傷し、入院などした場合に所定の見舞金をお支払いいたします。

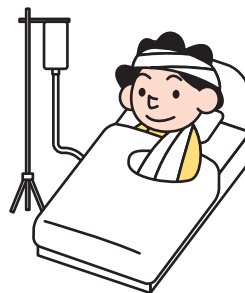
1 点検整備等完了後、納車時に
てんけん安心見舞金プレゼント証を発行（プレゼント）



2 納車日時から1年以内にその
自動車に搭乗中、交通事故に
より運転者・同乗者が受傷（入
院・通院等）



3 運転者・同乗者へお見舞金の
お支払い



見舞金の内容

プレゼント証に記載の自動車に搭乗中、交通事故により万が一「運転手及び同乗者の方」が受傷し、その傷害を直接の原因として事故の日から180日以内に「入院」、「通院」もしくは「死亡」、「重度後遺障害」になったとき一人につき下記の見舞金をお支払いいたします。

給付事由	見舞金額	対象者
通院 14日以上	30,000円	運転者及び同乗者
入院 10日～30日まで	50,000円	
入院 31日～60日まで	70,000円	
入院 61日以上	100,000円	
死亡・重度後遺障害	100,000円	

補償期間▶プレゼント証に記載の納車日時から**1年間**です。

見舞金が支給されない主な場合▶

- ① 運転者・同乗者の故意によるとき。
- ② 運転者・同乗者の犯罪行為、闘争行為によるとき。
- ③ 無免許運転・飲酒運転によるとき。
- ④ 見舞金規約の定める事項によるとき。

※その他、プレゼント証の注意事項もご覧ください。